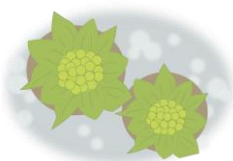


かがやけヤマブキ!

第3学年 学年だより 3月号



自分を信じてやりぬく心



日足も伸び、少しずつ春の訪れが感じられる今日この頃です。

3年生として過ごす期間も、残り1ヶ月となりました。この1ヶ月は、1年間のまとめとして、これまでの学習をふり返り、自分の成長を確かめるとともに、4年生へ向けての準備期間として一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

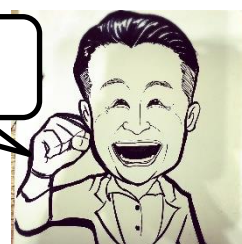
数日前、ラジオの報道番組で、「自己肯定感が高い子供ほど運動能力が高い傾向にある」という話題が紹介されていました。北海道教育委員会が、今年度実施された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(いわゆる全国体力テスト)の北海道内の児童生徒の結果を分析したところ、「自分にはよいところがあると思うか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した子供の割合が、総合得点の平均値の高かった地域では道全体の割合よりも高かったということだそうです。このニュースを聞きながら、私はすぐにAさんのことを思い浮かべました。Aさんは、2学期の中頃から「3年生の間に、なわとびで三重跳びができるようになりたい。だから今、たくさん練習している」と言っていました。そして先週ついに、「先生、三重跳びが1回できたよ!」と、大喜びで知らせてくれました。Aさんは、きっと「自分ならきっとできるようになる」と自分を信じてあきらめずに練習を続けてきたのだろうと思います。

失敗したり、思うような結果が出なかったりすることが続くと「どうせ無理だ」「自分は何をやってもだめだ」と思うってしまうこともあるかもしれません。でも、そこでくじけてしまわずに、Aさんのように、根気強く続けていれば、必ず力がつくと思います。同じ出来栄でも「これだけしかできなかった」と思うよりも「こんなに(も)できた」と肯定的に捉えた方が自分の成長を感じ、次への意欲につながります。北海道教育委員会の分析結果が物語っているのは、まさにそういうこ

となのではないかと思います。そして、これは、運動に限らず、どんなことにも当てはまると私は思います。3年生の子供たちと過ごせるのは後わずかとなりましたが、子供たちが少しでも多く自分のよさを見付け、さらに成長できるような声かけを心がけていきたいと思います。



やれば、できる!





人文字で感謝



3月2日（水）に行われた卒業を祝う会では、3年生は、人文字で、6年生への感謝とはなむけの気持ちを表現しました。どんな体勢になれば文字（片仮名）に見えるか、みんなで相談したり試したりしながらつくり上げました。本番でも、絶妙なチームワークで声をかけたり微調整をしたりして、6年生に楽しんでもらうことができました。



濁点は、帽子を使って表そう。

この姿勢で足を上げるのは、腹筋が辛い～。

体を斜めにするのはきついな～。

片方の裾をまくれば、ちゃんと「ナ」に見える。



二人で互いに支え合い！



できるだけ、体を小さく丸めて。

